そけい

鼠径ヘルニアって何??

外科・消化器外科
ひしかわ　ひでひこ
菱川　秀彦

ヘルニアとはある臓器が体の弱い部分や隙間からほかの部位へでてくる状態のことをいい、鼠径ヘルニアとは鼠径部（股の付け根）からのヘルニアのことをいい、いわゆる脱腸です。症状としては膨らみや痛みなど様々ですが嵌頓（かんとん）といった脱腸が戻らない状態が続くと、腸が壊死してしまうため緊急手術が必要となります。そのため鼠径ヘルニアと診断した場合、手術をおすすめしています。日本では年間約 16 万人がヘルニアの手術をうけており、手術法は様々なものがあります。当科では単孔式腹腔鏡を用い、臍からヘルニアを治療する方法で、痛みが少なく創がきれいな手術を行っています。